

JAにいがた南蒲 コメコメ通信2010 vol. 2

平成 22 年 6 月 16 日発行
 発行元: JAにいがた南蒲 営農経済部 米穀課
 TEL: 0256-39-7012
 FAX: 0256-38-1111
 e-mail: beikoku@ja-niigatanankan.or.jp
 URL: http://www.ja-niigatanankan.or.jp

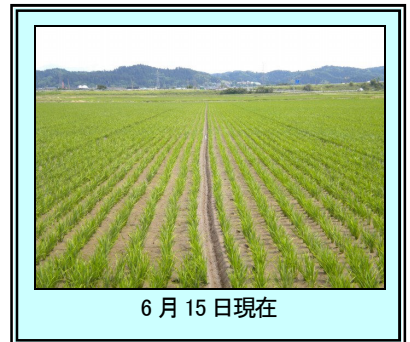
(1) 生育状況 (6月10日現在)

| 品種 | 地区 | くさたけ 草丈 (cm) | | | けいすう 茎数 (本/m) | | | ようすう 葉数 (葉) | | |
|-------|----|-----------------|------|------|------------------|-------|-------|----------------|-----|-----|
| | | 本年値 | 前年値 | 指標値 | 本年値 | 前年値 | 指標値 | 本年値 | 前年値 | 指標値 |
| コシヒカリ | 平均 | 28.8 | 29.1 | 30.0 | 248.8 | 196.0 | 260.0 | 7.2 | 6.9 | 7.0 |
| こしいぶき | 平均 | 26.3 | 26.0 | 28.0 | 271.0 | 261.1 | 320.0 | 6.5 | 7.2 | 7.5 |

6月に入り JA 管内の稲は田植え時期の低温にも負けず、少し遅れ気味ですが順調に生長しています。これから田んぼでは『中干し・溝きり』と田んぼに水を入れず(干す)、溝を掘り(溝きり)地面を少し乾かす作業に入ります。この作業で根を強くし、茎を太くさせ病害虫に強い稲に育てます。

☆今後の稲作☆

暑くなれば害虫や病気の菌が活発になり稲に被害を及ぼします。稲はこの時期に丈夫で強い体を作りますが、それだけではすべての病害虫に対応できません。そのため農家はそれら病害虫から稲を守るため草刈りや農薬散布などの作業に入ります。これらの作業は稲を守るための大事な作業となります。



6月15日現在

(2) 22年産米の出来秋予定集荷量がまとまりました。

5月末現在(主食用米のみ)

| 年産/品種 | コシヒカリ | こしいぶき | その他うるち | 酒米 | もち米 | 合計 |
|----------|--------|-------|--------|-----|------|--------|
| 22年産(t) | 20,343 | 8,818 | 160 | 315 | 718 | 30,354 |
| 21年産(t) | 23,027 | 7,390 | 171 | 378 | 708 | 31,674 |
| 22/21(%) | 88% | 119% | 94% | 83% | 101% | 96% |

当 JA で秋に集荷する米の集荷量がまとまりました。今年はコシヒカリから他品種への作付誘導が進み、こしいぶきの集荷量が大幅に増えました。合計では前年比 96%となっておりますが、生産調整面積の増加による主食用米作付面積の減少が主な要因です。また、今年はパンや麺類等の原料となる米粉用米や環境に優しいエコガソリンの原料となるバイオエタノール原料イネも作付しており、主食用米以外の他用途米の作付に積極的に取り組んでおります。

(3) JAにいがた南蒲では環境に配慮した新倉庫を建設中です。

当 JA では 22 年秋稼動を目指し、12 万俵 (7,200t) のお米を保管できる新潟県内最大規模の低温倉庫を建設しています。新倉庫を建設することで安心・安全に配慮したクリーンな保管を実現するとともに、倉庫内では電気運搬車(電動リフト)を使用し環境に優しい米倉庫を目指します。



新倉庫完成予定図

(4) アルビレックス新潟の選手と田植え体験を行いました。

5月30日サッカーJ1 アルビレックス新潟の選手が当 JA で子供たちと手植えによる田植え体験を行いました。当日は 4 名の選手が参加され、体験参加者と楽しい時間を過ごしました。秋には稲刈り体験イベントを行う予定です。



東口選手、明堂選手、奥山選手、ブルーノ選手と参加者の皆さん

JA にいがた南蒲では 2 年連続 1 等米比率 90%以上を確保しました。

22 年産も基本技術の励行で高品質米を目指します。

①土づくりの実践 ②適正籾数の確保 ③後期栄養・水の確保